

希望を反映した人口試算関連資料

結婚、子供数について将来人口推計の見通しと国民の希望

将来人口推計の見通し

< 1990年生まれの女性 >

結婚経験者 76.5%
(生涯未婚率 23.5%)

結婚経験者の子供数

無子	18.2%
1子	23.7%
2子	43.3%
3子以上	14.8%

将来推計人口(平成18年12月)の中位の
仮定

夫婦の最終的な子供数の平均
(夫婦完結出生児数)は1.70人

未婚者の希望

< 2005年に18~34歳の未婚女性 >

いずれ結婚するつもり 90.0%
(生涯未婚率 10%未満)

(注)「一生結婚するつもりはない」は5.6%
「不詳」は4.3%

結婚意欲のある未婚者の 希望子供数

無子	5.3%
1子	7.3%
2子	61.3%
3子以上	23.9%

(注)「いずれ結婚するつもり」と答えた未婚者の希望。
「不詳」は2.2%

(資料)第13回出生動向基本調査(独身者調査)

結婚意欲のある未婚者の平均希
望子供数は2人以上(2.10人)

既婚者の希望

< 2005年に50歳未満の妻 >

現存子供数別の追加予 定子供数

(現存子供数) (追加予定子供数)

無子 [12%]	1.32人
1子 [22%]	0.64人
2子 [46%]	0.08人
3子 [18%]	0.02人
4子以上[2%]	0.04人

[]内は構成割合である。

(資料)第13回出生動向基本調査(夫婦
調査)

夫婦の予定子供数は2
人以上(2.11人)

希望を反映した人口試算(H19.1)において想定される 「生涯未婚率」、「夫婦完結出生児数」について

生涯未婚率、夫婦完結出生児数の希望との乖離がそれぞれ同程度解消される場合

仮定人口試算	合計特殊出生率 (2040)	1990年生(これから出生年齢となる世代)において想定される水準	
		生涯未婚率	夫婦完結出生児数
ケース	(1.75)	10%程度	2.0人程度
ケース	(1.6)	13%程度	1.9人程度
ケース	(1.5)	16%程度	1.85人程度
ケース	(1.4)	20%程度	1.8人程度
新人口推計(中位)	(1.25)	23.5%	1.70人

仮定人口試算の出生率の仮定	
ケース	2040年までに結婚、出生に関する希望が実現するケース
ケース	2040年までに結婚、出生に関する希望との乖離が3分の2程度解消するケース
ケース	2040年までに結婚、出生に関する希望との乖離が2分の1程度解消するケース
ケース	2040年までに結婚、出生に関する希望との乖離が3分の1程度解消するケース

生涯未婚率の希望との乖離のみ解消される場合

仮定人口試算	合計特殊出生率 (2040)	1990年生(これから出生年齢となる世代)において想定される水準	
		生涯未婚率	夫婦完結出生児数
ケース	(1.5)	10%程度	1.70人
ケース	(1.4)	15%程度	
新人口推計(中位)	(1.25)	23.5%	1.70人

夫婦完結出生児数の希望との乖離のみ解消される場合

仮定人口試算	合計特殊出生率 (2040)	1990年生(これから出生年齢となる世代)において想定される水準	
		生涯未婚率	夫婦完結出生児数
ケース	(1.5)	23.5%	2.0人程度
ケース	(1.4)		1.9人程度
新人口推計(中位)	(1.25)	23.5%	1.70人

ケース、ケースについては、生涯未婚率、夫婦完結出生児数の希望との乖離を片方だけ解消したのでは達成することができない。